

# 平成 27 年度 普通会計・特別会計 決算

飯山市の平成 27 年度普通会計および特別会計決算がまとまりました。今回はその状況をお知らせします。

普通会計とは――

一般会計、福祉企業センター特別会計、ケーブルテレビ事業特別会計をあわせたものです。

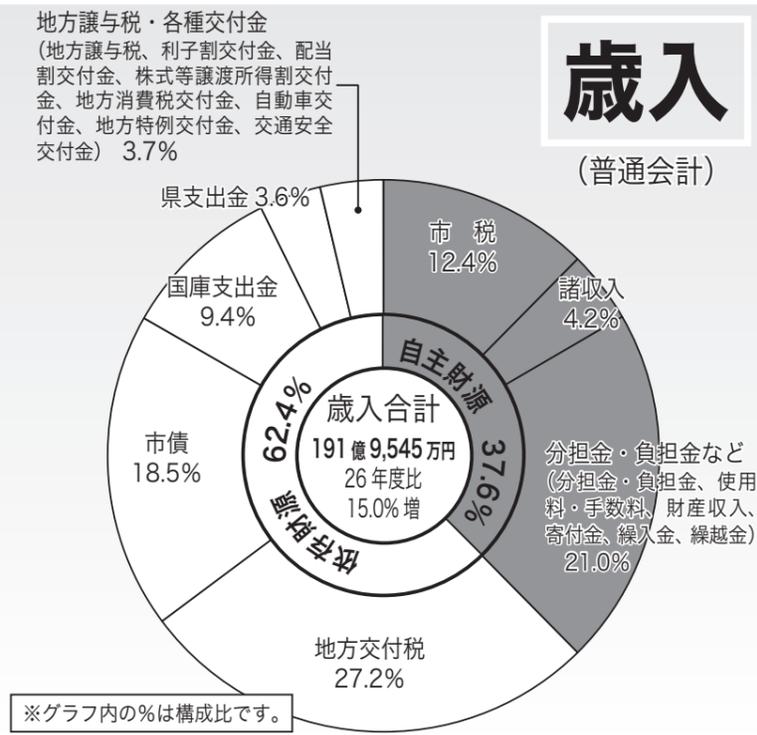
## 歳入の決算額

区 分	決算額	対前年増減
地方交付税	52 億 2562 万円	0.7% ↓
市 債	35 億 5730 万円	103.6% ↑
市 税	23 億 8118 万円	2.0% ↓
国庫支出金	18 億 425 万円	18.2% ↓
諸 収 入	8 億 1175 万円	0.1% ↑
県 支 出 金	6 億 9195 万円	8.2% ↑
分担金・負担金など	40 億 2457 万円	30.0% ↑
うち 寄 付 金	17 億 2435 万円	174.3% ↑
うち 繰 越 金	12 億 9000 万円	99.8% ↑
地方譲与税・各種交付金	6 億 9883 万円	40.3% ↑

## ■市税の内訳

税 目	決算額	構成比	増減率
固定資産税	11 億 3873 万	47.8%	1.7% ↓
市 民 税	9 億 3398 万	39.2%	3.0% ↓
市たばこ税	1 億 7053 万	7.2%	1.5% ↓
軽自動車税	7172 万	3.0%	1.3% ↑
都市計画税	5615 万	2.4%	0.9% ↑
入 湯 税	1007 万	0.4%	6.0% ↑

## 歳入 (普通会計)



※グラフ内の%は構成比です。

## 歳入

普通会計の歳入について、市税は法人市民税の減などにより前年度比 2.0% 減の 23 億 8118 万円となりました。地方交付税は 52 億 2562 万円、普通交付税が前年度比 0.6% の減、特別交付税は 1.1% の減となり、あわせて 0.7% の減と

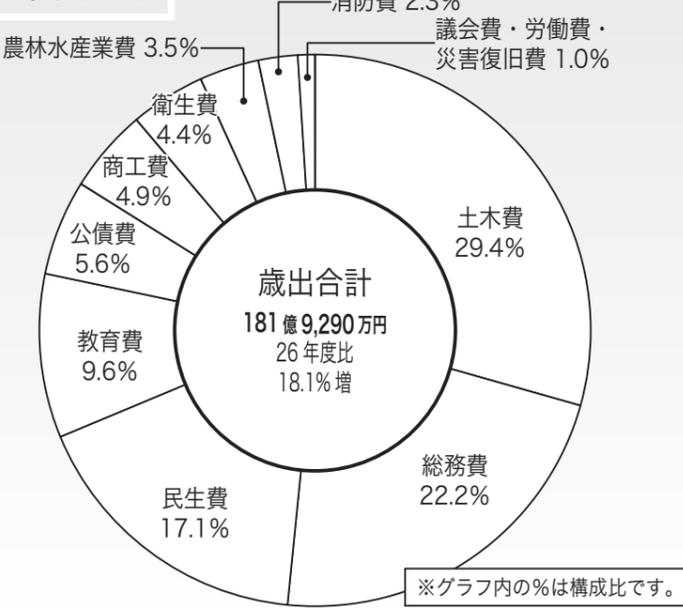
なりました。文化交流館建設、城南中学校移転事業等に伴い、市債は前年度比 103.6% 増の 35 億 5730 万円となりました。また、「ふるさと寄付金推進事業」の積極的な取組により、ふるさと納税額が 17 億円を超え、寄付金は前年度比 174.3% 増の 17 億 2435 万円となりました。

地方譲与税・各種交付金 (地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車交付金、地方特例交付金、交通安全交付金) 3.7%

## 歳出

普通会計の歳出は、普通建設事業費が 52 億 3981 万円、前年度比 31.9% の増となりました。区画整理・静間線・駅西地区整備などの新幹線関連事業、文化交流館建設、城南中学校移転事業などにより増額となったものです。物件費については前年度比 43.6% 増の 30 億 1963 万円となり、これはふるさと寄付金の特典経費の増などによるものです。また、寡雪の影響により、除雪費等の維持管理費が 39.8% 減の 4 億 2328 万円となったことや、寄附金の大幅な増加などにより積立金は前年比 440.5% 増の 12 億 5248 万円となりました。これには平成 27 年度において新たに新設した「子ども未来基金」への積立金 1 億円が含まれています。

## 歳出 (普通会計)



※グラフ内の%は構成比です。

## 用語解説

【歳出】  
 ■土木費：道路や河川、新幹線などの整備に使われたお金  
 ■民生費：高齢者や障害者、児童福祉の推進などに使われたお金  
 ■総務費：人事管理や財産管理、企画調整や地域振興、税務事務などに使われたお金  
 ■公債費：これまでに公共事業などで借り入れたお金の返済に使われたお金  
 ■教育費：小中学校の管理運営や施設整備、および生涯学習の推進などに使われたお金  
 ■商工費：商業や観光の振興および企業の誘致などに使われたお金  
 ■衛生費：ごみの処理や健康増進事業などに使われたお金  
 ■農林水産業費：農業、林業、畜産などの振興に使われたお金  
 ■消防費：消防団の運営や常備消防の維持など、消防活動や救急活動に使われたお金  
 ■議会費：議会運営に使われたお金  
 ■労働費：労働行政に使われたお金  
 ■災害復旧費：災害復旧のために使われたお金

普通会計以外の特別会計 (17 ページ参照) についても全会計において黒字決算を計上することができました。飯山市における健全化判断比率 (17 ページ参照) は、

## 歳出の決算額 (性質別歳出の状況)

区 分	決算額	対前年増減
普通建設事業費	52 億 3981 万円	31.9% ↑
物件費	30 億 1963 万円	43.6% ↑
人件費	19 億 551 万円	4.4% ↓
繰出金	18 億 6775 万円	1.0% ↑
補助費等	15 億 5372 万円	5.0% ↑
扶助費	13 億 294 万円	5.5% ↓
積立金	12 億 5248 万円	440.5% ↑
公債費	10 億 1129 万円	3.7% ↓
投資・出資金・貸付金、その他	10 億 3977 万円	22.7% ↓

## 歳出の決算額 (目的別歳出の状況)

区 分	決算額	対前年増減
土木費	53 億 4754 万円	15.1% ↑
総務費	40 億 4534 万円	115.6% ↑
民生費	31 億 1592 万円	5.8% ↑
教育費	17 億 4413 万円	84.2% ↑
公債費	10 億 1129 万円	16.3% ↓
商工費	8 億 9862 万円	16.5% ↑
衛生費	8 億 552 万円	8.0% ↓
農林水産業費	6 億 2783 万円	16.4% ↑
消防費	4 億 2328 万円	24.1% ↓
議会費・労働費・災害復旧費	1 億 7343 万円	9.1% ↓

平成 27 年度 特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出	差引残額
公共下水道事業	9億2361万円	9億800万円	1561万円
国民健康保険	30億3828万円	30億2296万円	1532万円
特定環境保全公共下水道事業	3億5260万円	3億4660万円	600万円
簡易水道等	16億5280万円	16億1287万円	3993万円
介護サービス事業	936万円	700万円	236万円
農業集落排水事業	3億1056万円	3億290万円	766万円
介護保険	27億3030万円	26億8666万円	4364万円
後期高齢者医療	2億2963万円	2億2820万円	143万円
駐車場事業	2423万円	1929万円	494万円

- ・いずれも普通会計に算入していないものです。
- ・1万円未満四捨五入により端数処理してあります。
- ・上水道事業特別会計は18ページでお知らせしています。

平成 27 年度決算に基づく健全化判断比率など

健全化判断比率には、「早期健全化基準」と「財政再生基準」があり、4指標のうち各基準を1つでも上回ると「早期健全化団体」、「財政再生団体」へと移行し、財政健全化計画の策定などが義務付けられています。

【健全化判断比率】

指標	26年度	27年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	13.81%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	18.81%	30.00%
実質公債費比率	11.9%	11.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	81.0%	55.9%	350.0%	

実質赤字比率、連結実質赤字比率

実質赤字額がないため（黒字のため）「—」で表示しています。

実質公債費比率、将来負担比率

前年に比べ実質公債費比率は0.8ポイント減少、将来負担比率は25.1ポイント減少しました。減少の要因として、実質公債費比率では過疎債などの地方債償還額が減少したこと、将来負担比率では基金の現在高が増加したことが挙げられます。

なお、普通会計地方債残高は、過疎対策事業に伴う新たな過疎債の借入れ等により平成27年度は118億3,492万円となり、平成26年度の98億2,578万円と比較すると20億914万円増加しています。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、飯山市の健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標の総称）と、公営企業の資金不足比率を公表します。

【資金不足比率】

決算において資金不足を生じた公営企業がないため該当ありません。「資金不足比率」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるかを示す数値で、基準値を超えると「経営健全化計画」を定める必要があります。

健全化判断基準とは・・・

**実質赤字比率**・・・一般会計などを対象とした実質赤字額が標準財政規模に対する比率です。

**連結実質赤字比率**・・・全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

**実質公債費比率**・・・地方公共団体の収入に対する借入返済額の比率を示すもので、普通会計の公債費に下水道特別会計や水道事業会計などへの繰出金（公債費相当）と岳北広域等への分担金（公債費相当）を加算し、財政負担の度合いを判断するものです。

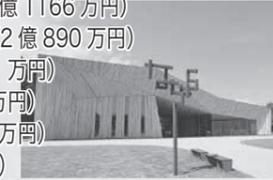
18%を超えると地方債発行について国や県の許可が必要となります。

**将来負担比率**・・・地方公共団体の一般会計などの借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を現時点で指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。

350%を超えると健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければなりません。

土木費

- 飯山ぶらざ（仮称）建設事業（24億9995万円）
- 区画整理・駅周辺整備関連事業（9億3458万円）
- 除雪対策費・除雪機械整備（4億1166万円）
- 都市計画道路静間線整備事業（2億890万円）
- 道路新設・改良事業（1億581万円）
- 市営住宅整備事業（1億272万円）
- 協働のみちづくり事業（2465万円）
- 移住定住推進事業（1944万円）



総務費

- ふるさと寄付金推進事業（16億3404万円）
- 城南中学校用地取得事業（5億97万円）
- 旧第二中学校除却事業（9733万円）
- 公共交通運行事業（7005万円）
- 区長行政事務委託事業（1865万円）
- 国勢調査（955万円）
- コミュニティ助成事業（950万円）
- 輝く地域づくり支援事業（308万円）
- 地域おこし協力隊事業（249万円）



民生費

- 介護・訓練等給付事業（4億380万円）
- 児童手当給付事業（2億9889万円）
- 後期高齢者医療市町村負担事業（2億7690万円）
- 保育所運営事業（2億1078万円）
- 医療給付事業（1億1370万円）
- 老人施設入所措置事業（6672万円）
- 臨時福祉給付金給付事業（4391万円）
- 社会福祉協議会運営事業（2363万円）
- 高齢者生きがい対策事業（1913万円）



教育費

- 中学校給食センター移転事業（1億1505万円）
- 城南中学校移転事業（2200万円）
- 中学校スクールバス運行事業（1703万円）
- スポーツ施設リフレッシュ事業（1674万円）
- スポーツ振興事業（1444万円）
- 小学校施設リニューアル整備事業（1377万円）
- 学力向上総合対策事業（849万円）



平成 27 年度  
普通会計決算

主な使い道

特徴的な事業、生活に身近な事業  
(1万円未満四捨五入)

商工費

- プレミアム商品券発行事業（6962万円）
- かまからの里整備事業（4300万円）
- 新幹線時代の観光地づくり事業（4115万円）
- 観光局運営事業（4000万円）
- 観光交流センター運営事業（3500万円）
- 広域観光推進事業（2834万円）
- 観光施設管理事業（1439万円）
- 誘客宣伝観光振興事業（811万円）
- インバウンド推進事業（215万円）



農林水産業費

- 中山間地域等直接支払い事業（8055万円）
- 農村多面的機能支払交付金事業（6780万円）
- 農地利用集積円滑化事業（4194万円）
- 協働のみちづくり事業（692万円）
- 新規就農総合支援事業（625万円）
- 菜の花の里づくり事業（605万円）
- みゆきポーク生産振興対策事業（286万円）
- 元気な農業づくり支援事業（249万円）
- 協働のもりづくり事業（124万円）



消防費

- 非常備消防運営事業（7260万円）
- 消防防災施設整備事業（3162万円）
- 災害対策事業（486万円）
- 消防施設管理事業（49万円）



衛生費

- 岳北広域分担金（衛生関係）（3億2699万円）
- 地域中核医療機関支援事業（1億2243万円）
- 検査・予防接種関係事業（1億272万円）
- リサイクル推進事業（3785万円）
- 環境・ごみ減量・再資源化推進事業（222万円）



だいらくだかん  
大駱駝艦 田村一行 舞踏公演

## 『カラリ手を引く真紅の子』 文化交流館なちゅら ☎ 67-0311

世界に誇る舞踏カンパニー “大駱駝艦” の舞踏手、田村一行が飯山に登場!!  
小菅神社の柱松柴燈神事から着想を得た新作公演です、乞うご期待!!



### ○舞踏とは?

1950年代に日本で生まれた踊りの1つです。白塗り・剃髪・裸体などの外見的な特徴のインパクトを与えますが、自らの肉体やその根源と向き合う手法は、様々な芸術分野に影響を与えています。

■振付・演出・美術 田村 一行

■宣伝美術 小林 直博 (鶴と亀)

フリーペーパー「鶴と亀」によるデザインのチラシ、ポスターは市内外で設置中です。

■日時・場所 飯山市文化交流館なちゅら 大ホール特設舞台

11月19日(土) 15:00開演 (14:30開場)

■チケット 発売中

■入場料 全席自由 大人1,000円 高校生以下500円 (当日券は各500円増し)

※未就学児無料、要申込

■チケットは、下記のいずれかの方法でお求め下さい

①飯山市文化交流館なちゅら 窓口 ②電話予約 (0269-67-0668) ③E-mail 予約 (bunkakouryu@city.iiyama.nagano.jp)  
当日券は、公演当日の9:00より飯山市文化交流館なちゅら窓口で販売します。前売り券が予定枚数に達した場合、当日券の販売はありません。



小菅地区での回ケ風景

### ○関連企画 ワークショップ「大駱駝艦の“舞踏”を体験しよう!

「動く」のではなく「動かされる」、ちょっぴり不思議な世界を体験し、自分ならではの動き・踊りを見つけてみよう!  
舞踏(ダンス)経験、運動神経、障がい等是不問です。お気軽にご参加下さい!

■日 時 11月15日(土)・16日(日) 19:00~21:00 ※1日のみの参加可

■会 場 飯山市文化交流館なちゅら

■参加料 500円

■申 込 電話またはなちゅら窓口

## 11月11日~17日は「税を考える週間」

信濃中野税務署 総務係 ☎ 0269-22-3151

国税庁では、国民の皆様へ租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくため、1年を通じて租税に関する啓発活動を行っていますが、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、集中的にさまざまな広報広聴施策を行っています。

## 戸狩温泉 スキー場 冬季スタッフ募集

職 種	時給	勤務時間帯
リフト	900円	8:00~17:00
レンタル受付	835円	6:00~18:00 (2交代制)
食堂調理厨房		8:00~17:00

- ・資格 未経験者歓迎 ※勤務日応相談
- ・期間 2016年12/17~2017年4/2まで ※短期、短時間は応相談
- ・応募 まずはお電話でご連絡下さい。TEL0269-65-2359(担当:丸山)

※市ではこのコーナーの有料広告を募集しています。詳しくは庶務課秘書広報係(☎62-3111内線337)までお問い合わせください。

## 飯山市文化交流館なちゅら 開館1周年記念 藝大オペラ ヴェルディ作曲「椿姫」ハイライト公演

文化交流館なちゅら ☎ 67-0311

なちゅらの1周年は、東京藝術大学オペラ研究部によるオペラ公演で盛大にお祝いしよう!!

■期日 平成29年3月25日(土) 14:00開演 (13:30開場) 全席指定

■チケット発売日 11月2日(土)

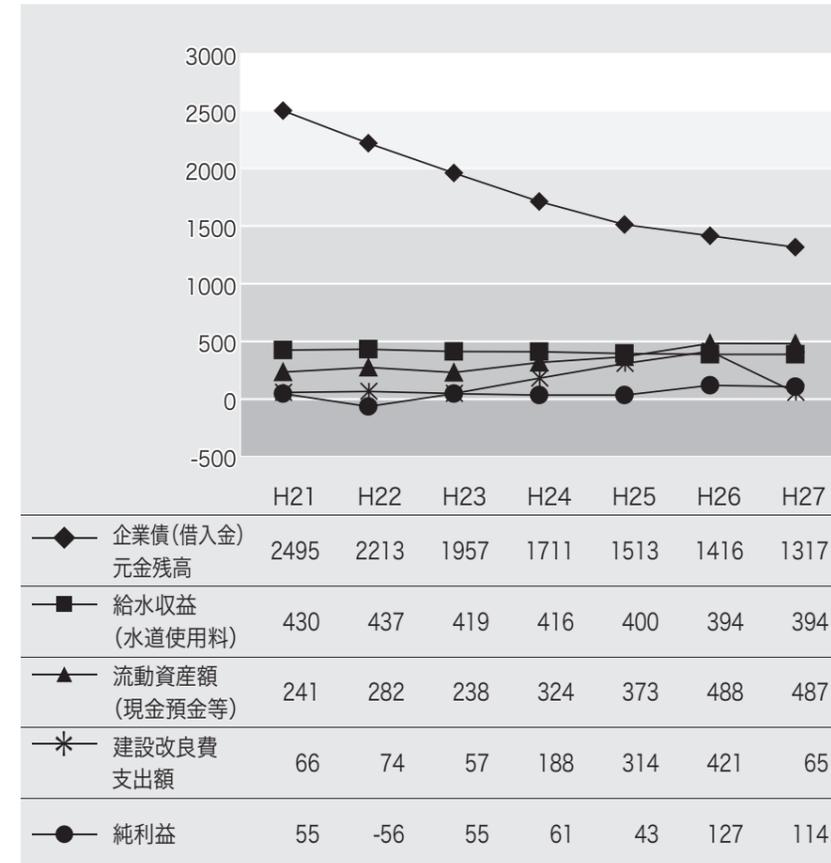
■入場料 大人3,000円 高校生以下2,000円 (当日券は各500円増し)

チケットは、下記のいずれかの方法でお求め下さい

- ① 飯山市文化交流館なちゅら 窓口
- ② 電話予約 (0269-67-0668)
- ③ E-mail 予約 (bunkakouryu@city.iiyama.nagano.jp)

当日券は、公演当日の9:00より、なちゅら窓口で販売します。前売り券が予定枚数に達した場合、当日券の販売はありません。

## ◆平成21年度から平成27年度までの 経営状況(単位:100万円・税抜)



※平成26年度から新たな会計基準の適用の影響により、純利益は増加していますが、償却資産の取得に係る補助金等の収益化に伴い増加する利益は現金収入を伴わない会計上の利益であり、経営を資金面で好転させるものではありません。

- 企業債(借入金)元金残高は、近年の繰上償還により平成21年度に比べ概ね半分に減りました。
- 給水収益(水道使用料)は、人口減少および節水意識の向上などにより年々減少しています。
- 流動資産額(現金預金等)は、ほぼ前年度並みとなりました。(将来の工事等に備えるものです。)
- 建設改良費は、新幹線飯山駅周辺整備や中央橋架替関連工事などの完了により、前年度から大幅な減少となりました。
- 純利益は、ほぼ前年度並みとなりました。

### お水だんしゃくのワンポイントアドバイス



長期ご不在時には水道の閉栓(休止)の手続きを

お仕事やご家庭の都合で長期間ご自宅を離れる場合は、漏水などの予期しないトラブルを防ぐため、また、閉栓することで基本料金が不要となりますので手続きをお願いします。

水道開栓、閉栓の手続きは上下水道課窓口で行っています。印鑑及び手数料(1000円)をお持ちのうえ、開栓、閉栓希望日の2~3日前までにお越しください。

### 平成27年度 上水道事業の給水状況

年度末の給水戸数	6,443戸
内 家 庭	5,798戸
事業所・工場	549戸
官公署・団体他	96戸
年度末の給水人口	1万7,169人
年間の総配水量	239万6,449m <sup>3</sup>
1カ月の平均配水量	19万9,704m <sup>3</sup>
年間の有収水量	183万337m <sup>3</sup>
1カ月の平均有収水量	15万2,528m <sup>3</sup>
有 収 率	76.4%

有収水量:水道料金請求の対象となった水量



# 上水道事業の経営状況(決算)をお知らせします

— 安心・安全でおいしい水の安定的な供給を —

水道事業は、地方公営企業として常に経済性を発揮しながら、計画的に事業を実施してまいります。引き続き漏水個所の特定と修理や、老朽管更新工事等を着実に有収率の向上を図り、経営の改善に努めます。今後も「安心・安全でおいしい水の安定的な供給」をいたします。市営水道へのご理解とご協力をお願いします。